

まちづくり達成状況報告書（事務事業点検シート）

課等名：生涯学習課 シートNo：54 作成日：2024/2/29

① 総合計画上の位置付けと事務事業説明

	施策の大綱	Ⅲ学校教育・生涯学習の推進	背景・課題	目的・意図
後期基本計画	施策の目標	2生涯を通じた学習活動を促進する	スポーツ協会・スポーツ少年団とも、市が補助金を支出する組織であり、団体は主体性・自主性をもって活動していく必要があります。会議の開催から事業の運営全般まで、全て事務局の市が行っている現状があるため、行政任せではなく、率先して自主運営を行っていただくことが重要です。少子高齢化、市外のクラブチームへの登録など、今後も登録者数の減少は続いていく見込みであるので、新たな施策を各団体で考えていく必要があります。	各種スポーツ団体が主体的に活動を展開するとともに、互いに交流し合うことでスポーツによる活力ある地域づくりができるようにします。 ①スポーツ協会が主体的にスポーツの普及推進を図り、市民の健康増進と体力の向上に努め、明るく豊かなまちづくりに寄与していくために支援していきます。 ②スポーツ少年団が主体的に青少年の心身の健全な育成のためにスポーツを振興させるよう支援していきます。
	施策	2スポーツ振興		
	施策内容	スポーツ指導者・活動団体の支援		
	その他、根拠法令及び分野別計画	スポーツ基本法		
	事務事業名	スポーツ団体支援事業		

② インプット（投入）

主な予算科目	会計名	
	一般会計	
	款	教育費
	項	保健体育費
	目	保健体育総務費
	事業	体育振興事業費

③ 主なアクティビティ（活動）とアウトプット（結果）

アクティビティ（活動）				アウトプット（結果）	
活動名	対象者	活動指標（回数・件数・日数等）		活動指標（参加者数・面積等）	
		R5年度実績値	R5年度目標値	R5年度実績値	R5年度目標値
チャリティーゴルフ大会（スポ協）	市民及び在勤者	1回	1回	148人	160人
地区対抗ゴルフ大会（スポ協）	市民及び在勤者	1回	1回	26チーム	26チーム
スポーツプレス発行	市民（全戸配布）	1回	1回	全戸配布	全戸配布
夏季研修会（スポ少）	小学生（団員）	1回	1回	34人	34人
近隣駅伝大会（スポ少）	小学生（団員）	1回	1回	23チーム	23チーム
指導者講習会（スポ少）	単位団指導者（大人）	1回	1回	19人	30人

④ 初期・中間アウトカム（成果）

指標名	成果指標	
	R5年度実績値	R5年度目標値
スポーツ協会専門部数	34専門部	34専門部
スポーツ少年団単位団数	29単位団	29単位団

⑤ 最終アウトカム（成果）

指標名	成果指標	
	R5年度実績値	R9年度目標値
新種目スポーツ団体加盟数（スポ協）	0専門部	5専門部
新種目スポーツ団体加盟数（スポ少）	0専門部	5専門部

⑥ 点検

改善の余地						今後の方向性
☐	コスト	☒	活動	☐	成果	☐
業務の振り返り						
・市スポーツ協会各事業は、コロナ感染の規制もなく通常どおりに実施ができ、参加者もコロナ前の参加者数と同じくなり活気が戻ってきました。 ・市スポーツ少年団事業は、夏季事業であったジュニアリーダー研修会を廃止して、リニューアル事業の提案より新規事業として指定管理者ミズノに協力を依頼して1日で完結できる事業としてスタートしました。						スポーツ協会については、スポーツを支える指導者の役割が重要になってきているため、各競技団体の指導者の育成と体制づくりを進める必要があります。加盟団体や会員の増を目指しスポーツ協会の役割りを見つめ直す必要があると言えます。 スポーツ少年団については、少子化の中で団員の減少が非常に目立っています。団体数の維持を目指し各単位団への加入促進PRを行うべきと感じます。現行の事業を継続する中で、スポーツ少年団へのPR活動事業を増やしていきます。 スポ協及びスポ少とも新種目スポーツ団体の加盟促進を図り、市として幅広い競技種目を体験できる環境を整備します。